



# ビジターセンターからの おしらせ

こんなイベント開催しました。

## 奥多摩のツキノワグマ講座

6/29(土)東京農業大学山崎晃司教授を講師に招き、奥多摩に住むツキノワグマの暮らしを講演していただきました。参加者の多くは奥多摩での登山経験があり、クマに会わないためにできる工夫を、各々ノートに書き記していました。

講座から、クマと人の距離感を考えるきっかけになればと思います。



## 夜の虫大調査3

7/7(日) 登計トレイルにて、夜間灯りに集まる昆虫を観察しました。他にも、樹液に集まる昆虫などを探しました。子どもも、大人も、コクワガタやカナブンに大興奮！

ヘビやカエルも見られ、奥多摩に多くの生き物が住んでいるのが実感できました。



# ちちたまかい ニュース

## 雲取山登山と避難小屋のご利用について

中面でも紹介した雲取山は、東京都の最高峰。特別な場所ではありますが、気軽に行ける場所ではありません。

短いコースでも、往復 10 時間以上かかるうえ、多くの場所は携帯電話の電波圏外。もちろん、コンビニもありません。

また、雲取山周辺(東京都内)の避難小屋は、緊急避難を目的に作られています。

短時間の休憩では利用していただけますが、予め計画しての宿泊はご遠慮ください。

雲取山は、充分な経験、計画、装備をもって、はじめて安全に登れる場所です。

他の山で十分に訓練して、いつかチャレンジしてみてください。

雲取山避難小屋



11月下旬より、冬山装備が必要。



季刊

# おくたん

2024  
夏

## 東京 山の日イヤーに、憧れの雲取山を想う

雲取山直下 石尾根から望む富士山



おくたんでは、奥多摩を探求し、奥多摩を堪能していただくための情報をお届けします。



奥多摩ビジターセンター  
〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川 171-1  
TEL: 0428-83-2037  
URL: <https://www.ces-net.jp/okutamavc/>  
指定管理者: (株) 自然教育研究センター (略称 CES)

8月7日発行

Follow me!



Twitter



Facebook



You Tube



# いつか行ってみたい、憧れの雲取山

8月11日は山の日。山に親しみ、山の恵みに感謝をする日。  
2024年は山の日全国大会が東京都で実施される年で、東京の山を楽しむ絶好の機会です。  
東京で最も高い、雲取山に想いを馳せてみませんか？

## 特別保護地区 雲取山



標高 2017m の雲取山は、都内唯一の亜高山帯。日本百名山にも選ばれ、多くの人に愛されてきました。

秩父多摩甲斐国立公園の特別保護地区にも指定されています。特別保護地区では、動植物以外にも、石の採取など、一切の自然改変行為を禁じられ、厳重に保護されている地域です。

そこには、未来に残したい、美しい自然や景色が残っています。

晴れた日には雲海が見えることも。早朝や夕方のマジックアワーには燃えるような朝日/夕日を。夜には澄んだ空気が織りなす満天の星空が楽しめます。



## おすすめ モデルコース

### 王道・鴨沢往復コース

総行動時間：12 時間以上 全長：24km  
鴨沢バス停から七ツ石小屋 - 雲取山を経て雲取山荘へ1泊。帰りは同じ道を下り、鴨沢バス停へ。  
雲取山周辺登山道で最もポピュラー。山小屋や避難小屋があるため、安心感も◎。

### 長丁場・石尾根コース

総行動時間：16 時間以上 全長：32km  
左記と同じく鴨沢バス停から雲取山を経て雲取山荘へ1泊。復路は七ツ石山から石尾根を下り、奥多摩駅へ下山する。駅へ下山でき、帰りが楽！  
石尾根は長いので、日没の長い季節にオススメ。



総行動時間：休憩、宿泊を抜いた行動時間。  
個人差が大きいので、あくまで目安に。



雲取山登山には、入念な計画と装備、体力が必要です。  
裏面『ちちたまかいニュース』も併せてご覧ください。

## 五十人平の今・昔

五十人平の奥多摩小屋は、1959年の建設以来多くの登山者に利用されましたが、設備の老朽化に伴い2019年に閉鎖されました。

しかし、多くのご要望をうけ東京都は2025年春、五十人平野営場の設置を決めました。



2014年



2021年



2024年

一見変わらないように見える五十人平も、ニホンジカの増加に伴う食害により、多くの植物が姿を消しました。右の写真でも、ヤマアワ原がなくなっています。

五十人平野営場は、シカ柵で囲われる予定です。柵に守られ、また多様な植物を見ることができるのでしょうか？植物の再生力に期待です。



2000年



2021年

## 素晴らしい景色を、100年先に繋ぐために

自然公園法によると、指定地以外でテント等を張ることはできません。なぜでしょう？



希少だったり、再生しにくい植物を踏みつぶしてしまう。



ゴミや排泄物を動物が食べてしまうと、登山道にクマなどが集まってくる。



せっかくの自然景観が損なわれる。管理人不在のためゴミが残り続ける。



救助の邪魔になってしまうことがある。

雲取山から見られる美しい景色は、まさに山の恵み。今度行く時も変わらぬ景色であり続けられるために、定められた場所で宿泊し、山の日イヤーに存分に山をお楽しみください。